

平成 25 年 5 月 23 日

受益者の皆さまへ

SBIアセットマネジメント株式会社

**国内株式市場の下落に伴う弊社ファンドの基準価額の変動について**

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。2013 年 5 月 23 日に国内株式市場が大幅に下落したことから、弊社の運用する日本株関連ファンドの基準価額が下記の通り下落いたしましたので、その原因等についてご報告申し上げます。

**1. 弊社の運用する日本株関連ファンドの基準価額及び国内主要指数の終値**

&lt; 弊社の運用する日本株関連ファンドの基準価額 &gt;

ファンド名称	5 月 23 日 基準価額 (円)	前日比 (円)	騰落率 (%)
SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ (愛称:jrevive)	12,452	▲801	▲6.04
SBI小型成長株ファンド ジェイクール(愛称:jcool)	6,302	▲672	▲9.64
中小型成長株ファンドーネクストジャパンー (愛称:jnext)	10,199	▲702	▲6.44
ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド	11,950	▲1,127	▲8.62
SBI TOPIX100・インデックスファンド<DC年金>	9,224	▲637	▲6.46
SBI 日本株トリプル・ブルベアオープン(SBI 日本株トリプル・ブル)※	31,917	▲8,279	▲20.6

※SBI 日本株トリプル・ブルは、わが国の株式市場全体の値動きの概ね3倍程度となる投資成果を目指して運用を行うファンドです。

&lt; 国内主要指数の終値 &gt;

	5 月 23 日 (終値)	前日比 (円)	騰落率 (%)
日経平均株価(円)	14,483.98	▲1,143.28	▲7.32
TOPIX(東証株価指数)	1,188.34	▲87.69	▲6.87
日経ジャスダック平均(円)	1,944.46	▲112.08	▲5.45
東証マザーズ指数	817.82	▲91.38	▲10.05

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

## 2.基準価額の主な下落要因

23 日の国内株式市場は、中国の経済統計の悪化をきっかけとした中国経済の先行きに対する懸念から、前引け前から全面安の展開となり、日経平均株価が前日比 1,143 円 28 銭安(同▲7.32%)の 14,483 円 98 銭で取引を終えました。日経平均株価の終値としては、2011 年 3 月の東日本大震災直後や 2008 年 10 月のリーマン・ショック直後の下げ幅を超え、2000 年 4 月の IT バブル崩壊時以来の下げ幅となりました。

23 日前場の国内株式市場は、FRB(米連邦準備制度理事会)のバーナンキ議長の発言を受けて米国の量的緩和政策が早期に縮小するとの見方が強まり、1 ドル=103 円台と円安傾向となったことから、取引開始直後には日経平均株価が一時 5 年 5 カ月ぶりとなる 1 万 5,900 円台に乗せる局面もありました。

しかし、前引け前に英系金融大手の HSBC が発表した中国の 5 月の PMI(製造業購買担当者指数、速報値)が悪化したことから、後場は一転して東証 33 業種の全てが下落、全面安となりました。

国内株式市場の大幅な下落に伴い、弊社の運用する日本株関連ファンドの組入れ銘柄の株価も影響を受けたことから、各ファンドの基準価額は下落いたしました。

当社では、引き続き適時適切な運用を行うべく尽力していく所存ですので、今後ともよろしく願い申し上げます。

以上

《投資信託にかかるリスク》

投資信託は、主に国内外の株式・公社債等値動きのある証券を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行体の財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、その結果、大きく損失を被る場合があります。

また、投資信託は、それぞれの投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

《お客様に直接・間接にご負担いただく費用等》

(お買付時に直接ご負担いただく費用)

- お買付手数料 上限 3.675% (税抜 3.5%)

(途中解約時に直接ご負担いただく費用)

- 信託財産留保額 上限 2.0%

(保有期間中にファンドが負担する費用(間接的にご負担いただく費用))

- 信託報酬※ 上限 2.1% (税抜 2.0%)

※成功報酬制を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限等を示すことができません。また、上記上限を超える場合があります。

- その他の費用

監査費用、有価証券売買時にかかる売買手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差引かれます。その他の費用は、監査費用を除き、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用等につきましては、一般的な投資信託を想定しています。費用の料率につきましては、SBIアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただく費用における上限を記載しております。投資信託にかかるリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、必ず該当投資信託の投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

《投資信託ご購入の注意》

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

委託会社 SBIアセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 311 号  
 加入協会 一般社団法人投資信託協会、  
 一般社団法人日本投資顧問業協会

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。